

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年5月2日 No.11

5月全校集会

早いもので新年度がスタートし、1か月が過ぎました。1日に行った全校集会では、「聴くこと」と「発表すること」の2つについて話しました。

☆「聴くこと」について

「きく」という漢字には、「聞く」と「聴く」がある。吉浜小学校のみなさんには、「聴く」の漢字のような「きき方」をしてほしい。「聴」という漢字は、身体の部分を表す漢字を組み合わせられてつくられている。

【何があるかな？ 「目」「耳」「心」。えっ、「目」がありますか？ 向きを変えれば目になるよ。何か余っちゃったね。それは「たす」で、合わせるってこと】

というようなやりとりがあり、子どもたち（校長室の隣の教室の3年生）が話を進めてくれました。

☆**目**と**耳**と**心**を合わせてしっかりと「聴くこと」をがんばってほしい。



☆「発表すること」について

初めに3つの絵を示しました。どれも三角柱の展開図です。真っ白では味気ないので、絵（人の顔、鳥、ロバのつもり）を描いてみました。これを組み立てていくと…と言って、それぞれを組み立てていき、どれも同じ形（三角柱）になることを確認しました。

このように、学校では答えが同じでもその答えへのたどり着き方はいろいろある。考え方はいろいろあるということ。学校では仲間の力も借りて、いろいろな「考え方」を学ぶところ。仲間の発表を聴いて、そんな考えもあるのかと思う、そして、自分もさらに考えてみる、これが学校で勉強する意味だと思います。でもいろいろな考え方を、みんなが発表してくれなかったら、学ぶこともできません。

☆いろいろな学習で、みんなが考えたことを積極的に発表してほしい。



全校集会で使った「グッズ」は校長室の前に掲示するようにしています。今回は、三角柱の展開図も子どもたちが手に取って組み立てることができるよう紐でつるしておきました。さっそく見つけた子どもたちが手に取って同じ形になることを確かめていました。

この展開図、「人の顔」はスタンダードな展開図ですが、「鳥」や「ロバ」はなかなか思いつきません。この展開図は私が担任をしていた頃、算数の授業で当時の子どもたちが考えたものです。印象に残っており、今回の全校集会で活用させていただきました。印象に残るとは、展開図自体もそうですが、「ロバ」の展開図のアイデアが刺激となって、皆があれこれ話し合いながらいろいろな展開図を考えていった様子が印象に残っています。鳥の展開図はなかなか思いつくものではなく、当時の私は大変な衝撃を受けた記憶があります。

こんなことがあり、子どもたちの知的好奇心や意欲に火がつくと、教員がほっておいても自分たちで追究していくのだと学びました。吉浜小学校の子どもたちが互いに学び合いながら高め合って進んでいく姿をたくさん見せてほしいと思っています。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年5月8日 No.12

アサガオの種を蒔きました



1年生がアサガオの種を蒔きました。これから毎日、水やりをしたり、雑草が生えてきたら抜いたりして自分だけのアサガオを育てます。まるで大切なものを扱うようにやさしく種をつまみ、ふわっと土をかけている姿が印象的でした。早速、朝の水やりが始まっています。さて、何色のアサガオが咲くでしょうか。楽しみです。

☆アサガオの種を蒔きました☆

- ・(水をあげたので) アサガオがお茶を飲んでいるみたい。紫のアサガオがさくといいな。
【中川琴絵さん】
- ・赤いアサガオがいいな。かっこいいから。
【佐藤結希さん】
- ・アサガオの花で色の水をつくりたい。
【中西彩乃さん】
- ・今日の服の色と同じ紫色の花が咲くといいな。
【江川依那さん】



花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年5月9日 No.13

2年生が野菜の苗を植えました



今年度も野菜に詳しい地元の中根忠義さんに教えていただきながら野菜の苗を植えました。野菜はあまり好きではないと言う子もいましたが、これをきっかけに野菜好きが増えればと思っています。お世話、がんばってくださいね。

ミニトマトを植えました。家でもミニトマトを育てようと思います。たくさんとれたらみんなにわけてあげたいです。 <岡崎裕稀羽さん>

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年5月14日 No.14

地域とともに

先週土曜日、「人形小路花まつり」が行われました。

毎年行われている白象のパレードに今年も本校の子どもたちが参加し、元気いっぱい白象を引いていました。そんなに力を入れなくてもよいのですが、つつい力が入ってしまうところは子どもらしくていいと感じました。終わった後に汗をかいている子もいました。みんなよくがんばりました。

戦後から続いてきた白象のパレード、1970年頃にはいったん取りやめとなりましたが、長さ2.7m、高さ1.9mの白象を新たに制作し、2007年に復活したそうです。白象は、「吉浜細工人形」の技法を用い、竹を芯に巻き、わらで形を作り、しっくい表面を固めたものだそうです。それでも表面が汚れ、ひび割れが生じたことから3年前に文化庁の地域文化財総合活用事業を活用してしっくい塗り直し、木造の曳き車は新造したとのことでした。



「花まつり」とは、お釈迦様の誕生を祝う伝統的な行事。吉浜地区の花まつりでは、白象のパレードやお釈迦様の誕生仏に甘茶をかける「甘茶かけ」も行われています。

白象のパレードについては、お釈迦様の生母である摩耶夫人が6本の牙を持つ白象が夫人の胎内に入る夢を見て、その後、お釈迦様をご懐妊したことを知ったという逸話があります。このことから、「白象がお釈迦様を運んできた」と信じられるようになり、お釈迦様の誕生祭である花まつりには、白象が登場するようになったと言われています。

本校では、伝統文化が盛んな吉浜地区の「ひと・もの・こと」とふれ合い、知識や技能を学んだり、自分の思いや考えを表現したり、周りを思いやったり、周りに感謝したりする体験を通して、自分やふるさとに誇りを抱けるような子どもを育てようと考えています。生活科のまち探検、菊の栽培や菊人形作り、防災などを中心にして、地域に学ぶ活動を展開していきます。

図書室が賑わっています

図書委員会の活動が始まり、図書室に通い本を借りたり、読んだりする子が増えました。昨年度までは子どもの密集が心配で雨天時は閉館としておりましたが、今年度からは雨天時も開館しています。

保護者のみなさんには自分の生き方に影響を与えた一冊はありますか。これからの子どもたちの人生に影響を与えるような1冊に巡り会ってほしいと思っています。ご家庭でもそんな本について話題にいただけたらと思います。



花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和7年5月16日 No.15

クラブ活動



第1回目のクラブ活動が始まりました。クラブ活動は自分のやってみたい活動を選択（人数の関係で希望が通らない場合もありますが）でき、また、異学年の子どもがいっしょに活動する貴重な機会になっています。この日も学年や男女に関係なく活動を楽しみ姿が見られました。